



特集 いいところ再発見2
 陶史の森に
 連れてって!!

夏休みのお出掛け、どこに行くかお悩みのあなたに朗報です。
 芝生が広がり小川が流れる。大きなアスレチックやローラー滑り台があってバーベキュー
 もできる。多くの動植物とも触れ合え、天気が良ければ遠くの山も見渡せる。そんな場所が
 土岐市にあるのをご存じですか？
 今回の特集は「陶史の森」。最後に行ったのはいつだっけ…そう思っている方も多いので
 は。近くにこんなにいい公園があるのに、知らないなんて、もったいない！今年の夏は、陶
 史の森を遊び尽くしませんか。



②ちびっこ広場

長いローラー滑り台や、船の形をしたアスレチックなどが子どもたちに大人気。

雨の日のイベントや日差しが厳しいときも、広いウッドデッキがあるから安心です。



※園内には自動販売機はありません。お茶などを持ってお出掛けください。



陶史の森には、5月に生まれた子羊をはじめ、多くの動物たちがいます。みんな会いに来てね！



毎年4月の初旬には、ギフトチョウの放蝶会が開催され、市内外から多くの愛好家が集まります。



陶史の森には、陶器にちなんだ名の付いた散策路がたくさんあります。頂上からは遠くの山々が望めます。



④トンボの湿地周辺

陶史の森には湿地が多くあり、独特な自然環境が形成されています。特にこの辺りでは、ハッチョウトンボやシラタマホシクサなども見られます。



③動物小屋・チョウの館



陶史の森ってこんなところ！

岐阜県と土岐市が整備した「生活環境保全林」で、昭和47年に造成を始め、昭和50年にオープンしました。その後も幾多の保安林整備や施設整備を重ねてきました。特に、平成元年から2年間「土岐いきものふれあいの里」として、陶史の森104haのうち14.5haを環境庁（現環境省）および岐阜県の補助事業によって整備するなど、同森の充実を図っています。

自然と親しみながら明日への生活の活力を養う憩いの広場として、また、自然や昆虫の観察・小動物との触れ合いを通じた自然教育の場として、多くの方に利用されています。



①河川広場

河川広場ではバーベキューが楽しめます（要予約）。土・日曜日はなかなか予約が取れない程人気です。脇を流れる川は浅いので、子どもたちが遊んでも安心。



土岐市ネイチャーセンター

〔住所〕 土岐市肥田町肥田 字雲五（陶史の森内）
〔TEL〕 59-5144
〔開館時間〕 9:00～16:30
〔休館日〕 火曜日、年末年始（ただし陶史の森は年末年始のみ休園）

陶史の森施設長 楓正敏さん

子育て世代や退職して第二の人生を歩まれている人がよく利用されます。子どもは喜々として昆虫を追いかけ、シニアの方は四季の移ろいを感じながら散歩などをされています。どんな世代の人であれ、自然から学ぶことが多いから楽しいのだと思います。私も1日1つは新しい発見があり、自然にはまだまだ知らないことがある、と感心させられます。

湿地などにはなかなか見られない貴重な植物や昆虫もいますので、ぜひ多くの人に来ていただき、自然からいろいろなことを学んでいただけたらと思います。



遊びに来ていた親子に聞きました 陶史の森のオススメは？

ヒツジの毛刈り見学会や蜂蜜絞り体験ができるミツバチ教室など、四季折々のイベントが開催されたら動物や自然と触れ合うことができたりして、楽しいです。また、園内の整備もしっかりされていて、安心して子どもと遊べるところが良いですね。子どもたちは水遊びや生き物観察が大好き。幼稚園から帰ってきた後も「行こう、行こう！」と誘ってきます。園内を散歩している、おじいちゃん・おばあちゃんも気軽に声を掛けてくれてうれしいです。